



9/3

パリ五輪出場決定で 日本代表記者会見

FIBAバスケットボールワールドカップ2023において、通算3勝2敗で勝ち越し、パリ五輪出場を決めた日本代表選手らが、市役所の地下大ホールにて、記者会見を開きました。

記者会見に臨んだのは、代表選手12人とトム・ホーバスヘッドコーチ(HC)。報道陣に拍手で迎えられました。

沖縄アリーナでのプレーについて聞かれた渡辺選手は、「盛り上がり方が本当にすごくて、お客さんの雰囲気はアメリカと一緒に。最高の雰囲気の中でやらせていただいた」と話しました。富樫選手は、「沖縄ブースターの心強さ感じていた。選手全員を後押ししてくれた」とファンに感謝しました。

パリ五輪の目標を聞かれたホーバスHCは「ゆっくり考えたい」とし、「このチームはスーパーチームだが、天井がどこまであるかわからない。そこが楽しみ。今、結果を出したけどもっともっとできると思う」と期待を込めました。



8/26、27・9/2、3

KOZA FES 2023

~WELCOME TO OKINAWA CITY~

W杯を盛り上げる

沖縄アリーナで開催された「FIBAバスケットボールワールドカップ2023」をみんなと一緒に楽しみ、盛り上げようと「KOZA FES 2023~Welcome to Okinawa City~」が行われました。

コザゲート通りを通行止めにして、琉球舞踊やエイサー、獅子舞、沖縄民謡や人気ミュージシャンによるライブなどを披露する沖縄文化ステージ、音楽ライブのほか、3×3バスケットボール、BMXパフォーマンス、ダンスバトルなどのイベントが開催されました。

沖縄アリーナでの試合時間に合わせてコザ・ミュージックタウン1階 音楽広場では、パブリックビューイングが行われ、熱心なファンが訪れました。コザゲート通りには人気のキッチンカーが並び、大勢の来客で賑わいました。



8/5~6



兄弟都市紹介 豊中市で「豊中まつり2023」開催

本市の兄弟都市である大阪府豊中市の夏の風物詩「豊中まつり2023」が、豊中市の豊島公園と豊中市立文化芸術センターで開催されました。

沖縄の音楽を楽しむ「沖縄音舞台」ステージ初日には、今年から新しい試みとして、高校生同士の交流ステージがあり、豊中市推薦の高校生バンド6組と沖縄バンドインターハイ2023グランプリの高校生バンド「Nico」が演奏を披露しました。

「豊優会」や大阪教育大学の「琉球鼓舞いちやりばちよーでーエイサー隊」、「沖縄かりゆし会」のエイサー演舞では豊中市に沖縄の風を吹かせました。

ステージ周辺には、沖縄そばやもずく天ぷらなど沖縄の食が楽しめる屋台が立ち並び、沖縄市観光物産振興協会の物販ブースでは、沖縄市をPRするTシャツやクラフト締太鼓などが販売されました。

両日にわたり開催された沖縄音舞台のステージでは、与那覇歩、U-MIOをはじめとした沖縄出身のアーティスト6組が出演し、会場を熱く盛り上げました。フィナーレのカチャーシーでは、大勢の観客が手をあげて踊りだし、21万人が来場した豊中まつりは大盛況のうちに幕を閉じました。

豊中市は大阪府の中央部の北側に位置する人口約40万人の中核市で、大阪国際空港(伊丹空港)を通して40の都市と結ばれるなど、多くの人や物、情報が行き交う街です。

1974年に「兄弟都市」を宣言し、豊中まつりの他、豊中市からも沖縄市のイベント(沖縄市産業まつり、ピースフル・ラブ・ロックフェスティバルなど)へ出演するなどの交流が続いており、来年には兄弟都市提携50周年を迎えます。



特集

市政トピックス

連載コラム

市民カレンダー

おでかけカレンダー

おしらせ





8/12・13 潮乃森ビーチフェスタ2023

東部海浜開発事業(潮乃森)を広く市民に知ってもらうため、泡瀬沖合の人工島で「潮乃森ビーチフェスタ2023」が開催され、夏休みの子ども達・家族連れらで賑わいました。
今夏初のビーチ利用となる海開きのカウントダウン後のステージでは、エイサー演舞・フラダンス・お笑いライブ・バンド演奏などが会場を盛り上げました。
ビーチエリアでは海水浴のほか、世界の遊びや宝さがし・巨大エア遊具の滑り台・バナナボート・キッチンカーなど多彩な内容で、市内外から3,376人の参加があったフェスタは、子ども達の笑顔が溢れ大盛況の2日間となりました。



8/12 Jリーグサッカーの試合に市民509人を無料招待!

タピック県総ひやごんスタジアムにて「2023明治安田生命J3リーグ第22節」が開催され、FC琉球とFC大阪が試合を行いました。「沖縄市民DAY」として、観客4,197人の内、市内在住・在勤・在学の509人が無料招待され、試合を観戦しました。
スタジアム場外では市内事業者4店舗がキッチンカーを出店し、松本青年会がエイサー演舞を披露。エイ坊が登場し、FC琉球公式マスコットのジンバーニョと場内一周し、両チームへ特産品セットを贈呈するなどして会場を盛り上げました。



9/7 平和のバトンをつないでいこう

沖縄市民平和の日に、ミュージックタウン音市場で「2023沖縄市民平和の日記念行事」が開催されました。
第1部では、市内各中学校より推薦された生徒と公募により選任された社会人による平和大使18名が登場し、平和への決意を込めた歌「時代の語り部」を手話を交えて披露。平和大使を代表して美里中学校2年の山入端ひまりさんは「私たちが当たり前と感じている日常を二度と壊されないように、今自分にできることを考えてみましょう」と平和への思いを述べました。
第2部では、劇団チーム・スポット・ジャンブルによる新作オリジナル舞台「19450907」を上演。主人公の青年が沖縄戦時にタイムスリップし、現代の何気ない日常がいかにか平和で尊いものかを学ぶ物語。目頭を押さえる観客もおり、改めて戦争の悲惨さ、命の大切さを考える日になりました。



QRコード
アーカイブ
配信は
こちら



8/8

信金中央金庫へ紺綬褒章

企業版ふるさと納税に対する紺綬褒章伝達式のため、コザ信用金庫の喜友名勇理事長らが市役所を訪れ、桑江市長より褒状を受け取りました。紺綬褒章とは国の栄典制度であり、公益のために私財を寄付した方に対し授与されるもので、信金中央金庫より企業版ふるさと納税を通し、沖縄市のスポーツコンベンションシティ推進事業のために活用して欲しいと1千万円の寄付がありました。



8/10

市民の手できれいな街へ!メイン通り清掃

市民自らの手によるきれいで住みよい街づくりを目的に、「沖縄全島エイサーまつり」や「FIBAバスケットボールW杯2023」に向けて、コザゲート通り、グラウンド通りなど、市内メイン通りの一斉清掃が行われました。沖縄市民憲章推進協議会が主催し、市内の企業や団体等から約200名が参加。可燃ごみ80kg、不燃ごみ、かん、びん、ペットボトルが回収されました。



8/12

介護等のお仕事就職相談会開催

市内の介護施設等の人材確保支援を目的とした「介護等のお仕事就職相談会」が沖縄市農民研修センターで開催されました。相談会には、市内外から求職者が42名、市内に介護施設等を有する法人18社が参加しました。会場内に設けられた各ブースでは、求職者が担当者から仕事内容、処遇条件、自社の魅力などの説明を受け、求職者は熱心に耳を傾けていました。参加した法人からは「自社の魅力を発信できるいい機会になった」との声がありました。



8/16

月下老人が4年ぶりに沖縄市へ

アジア最強の縁結びの神様といわれる「月下老人」が4年ぶりに台湾から沖縄市へやってきました。コロナ禍で途絶えていた台湾との交流が再開され、月下老人お迎え式が、台湾文化館(沖縄市中央)で行われました。月下老人は、台北市の迪化街(ディーホアジェ)にある寺、台北霞海城隍廟(タイペイシャハイチェンファンミャオ)で祀られている恋愛成就の神様です。12月29日まで、一番街の台湾文化館で、11時から19時まで参拝できます。



8/17

チーム一丸、吹奏楽で九州へ

美東中学校吹奏楽部が市教育委員会を訪れ、7月に行われた「第64回沖縄県吹奏楽コンクール」で金賞を受賞し、「第68回九州吹奏楽コンクール」へ派遣されることを比嘉教育長へ報告しました。部長の外間璃音さんは「今まで支えてくれた方々へ感謝し、全国出場を目標にチーム一丸となって頑張りたい」、副部長の石川結菜さんは「県コンクールを通して仲間の大切さを学んだ。自分たちの夢に向かって頑張る」と抱負を語りました。



8/20

古謝自主防災組織の防災訓練

古謝公民館において、古謝自主防災組織による第17回防災訓練が行われ、災害時緊急避難通路の説明や、普通救命講習、炊き出し訓練などが行われました。古謝自治会区内で2月に完成した緊急避難通路の道路整備に協力し、土地を提供したとして、内間安要さんに知念信恒自治会長から感謝状が贈られ、息子の安治さんが受け取りました。



特集

市政トピックス

連載コラム

市民カレンダー

おでかけカレンダー

おしらせ



8/23 兄妹揃って1位入賞!全国大会へ

陸上クラブ「あわせJRC」の親泊^{たかひさ}昂尚さん(宮里小6年)と親泊ひとみさん(宮里小5年)の兄妹が市教育委員会を訪れ、7月17日に開催された「日清食品カップ第39回沖縄県小学校陸上競技交流大会」で兄妹共に1位入賞したと、9月17日開催の全国大会に兄妹揃って出場することを比嘉教育長に報告しました。

【受賞種目】 昂尚さん:男5年6年コンバインドA(80mハードル・走り高跳び) ひとみさん:女5年6年コンバインドB(走り幅跳び・ジャベリックボール投げ)



8/24 車椅子ソフトボール 沖縄より2人ベスト選手賞受賞

車椅子ソフトボール日本代表の仲里進選手、新城茂人選手(いずれも琉球ワイルドキャッツ)が市役所を訪れ、米国のシカゴで行われた「車椅子ソフトボール2023ワールドシリーズ」で優勝したことを桑江市長に報告しました。仲里選手と新城選手はそれぞれベスト選手賞を受賞。仲里選手は「決勝延長戦ではしっかり活躍し爪痕を残した」、新城選手は「初めて代表に選出され、いい経験ができた」と話しました。



8/24 「大会を盛り上げる」選手宣誓

第59回沖縄県身体障害者スポーツ大会に向けて、沖縄市福祉地区の結団式が行われました。

式に出席した藤山沖繩市議会副議長、仲宗根健康福祉部長、島田薫沖繩市社会福祉協議会会長から激励の言葉が贈られ、高良格団長へ沖繩市旗が手渡されました。

選手を代表して湧川和夫さんが「みんな仲良く、休憩や水分を取りながら身体障害者スポーツ大会を盛り上げることを誓います」と高らかに宣誓しました。



8/25 さあ、ふしぎなおはなしの世界へ出発だ!

さまざまな手法で物語の楽しさを伝え、図書館や本に、より深く親んでもらうことを目的とした「夏休みブックフェスティバル」が、沖繩市立図書館で開催されました。

大型紙芝居やペープサート(紙人形劇)のほか、市図書館のおはなし会で伝統的に取り入れられている素話などが披露され、参加した子ども達は次々と展開する物語の世界に引き込まれ、真剣におはなしに聞き入っていました。

沖繩市立図書館では、毎月「定例おはなし会」も開催中です。(詳しくはp13へ)



8/30 市役所でウンケー・ウークイ

旧盆期間の8月28日から30日まで、市役所2階にある仏壇でも沖縄の伝統行事である「ウンケー」や「ウークイ」が行われました。

ウークイの日にはご馳走の入った重箱や果物、子どもの御霊のためのお菓子などを供えました。桑江市長や平田副市長、市の職員が参加し、線香をあげ手を合わせ、ウチカビを燃やして市納骨堂の精霊をお見送りしました。



9/1 地域の繁栄願い獅子舞道ジュネー

旧暦の7月17日に胡屋きょうゆう会と仲宗根共有会による伝統行事「獅子舞」の道ジュネーが胡屋・仲宗根地域で行われました。

獅子舞は、悪霊を祓うとともに世果報の招来、五穀豊穡と地域の安寧・繁栄を願う行事として、胡屋・仲宗根きょうゆう会では、約180年前に始まりました。先の大戦による中断を経て、昭和53年に復活し、地域の民俗芸能として執り行われてきましたが、コロナ禍により今回は4年ぶりに地域を練り歩きました。



8/29

沖縄市東部まつり実行委員会 市長表敬

沖縄市東部まつり実行委員会の知念信恒実行委員長(古謝自治会長)らが市役所を訪れ、桑江市長に「第20回 沖縄市東部まつり」を開催することを報告しました。

知念実行委員長は「地域の活性化と伝統文化の継承発展などを目的に、東部地域手作りのまつりで盛り上げたい」と開催への意気込みを述べました。まつりは、10月29日(日)に沖縄県総合運動公園で開催されます。



9/6

山内中水泳・空手 全国、九州大会で好成績

山内中学校の生徒らが市教育委員会を訪れ、空手、水泳の大会結果を比嘉教育長へ報告しました。

主将の花城康龍さん(空手)は「冷静にみんなで力を合わせて形の演武を行い優勝できた」と話しました。

大会結果
「第31回全国中学生空手道選手権大会」男子団体形優勝、「第19回九州中学校空手道競技大会」男子団体形優勝、男子個人形優勝(島袋琉心さん)、「九州中学校水泳競技大会」女子自由形200m3位、自由形400m4位(いずれも新垣心晴さん)



特集

市政トピックス

連載コラム

市民カレンダー

おでかけカレンダー

おしらせ

寄付・寄贈等

皆さまのご厚意に感謝申し上げます。

寄付金等贈呈式を行った皆さまをご紹介します。いただいた寄付金等は、有効活用いたします。

8/7

コトブキシーティング株式会社(代表取締役 深澤 重幸)

企業版ふるさと応援寄付金として稼働力を高めるとともに、新しいひとの流れをつくる事業に



8/9

沖縄日伊オペラ(代表 泉 恵得)

貧困の子どもたちの支援に寄付金72,000円



8/10

琉球フットボールクラブ株式会社(代表取締役会長兼社長 倉林 啓士郎)

合同会社Heidi Heidi(代表 YUN Yong du)

沖縄市(台風被害者支援)へLEDランタン「ソルピカ」(防災グッズ)50個



8/15

沖縄市青年団協議会(会長 仲間 良成)

美さと児童園へ第45回沖縄市青年まつり招待券43枚



8/23

桑江 光子 氏

沖縄市立幼小中学校へ絵本「よかったね、よかったね。」40冊



9/4

株式会社fantasista(共同代表取締役社長 並里成、渡部敬祐)

沖縄市(台風復興支援・防災)へ寄付金10万円



マチロ



マイ広報誌



子育て



健康